

事業名：校外学習推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実							
施策	01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実							
基本事業	01 教育内容の充実							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
スキー授業を受ける小中学校児童生徒	
手段（事務事業の内容、やり方）	
学校単位で行うスキー授業のうち、1回分のバス賃借料を負担する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
当市にスキー場が無い事に鑑み、スキー授業実施に係るバス借上料の助成を行い、保護者の負担軽減を図る。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	スキー授業を受ける小中学校児童生徒数	人	6,391	6,280	6,033	6,031
対象指標2						
活動指標1	借上したスキーバスの台数	台	177	176	179	190
活動指標2						
成果指標1	スキー授業に参加した児童生徒の延人数	人	6,391	6,280	6,033	6,031
成果指標2						
事業費(A)		千円	6,508	7,207	10,713	15,390
正職員人件費(B)		千円	803	1,603	1,563	1,565
総事業費(A+B)		千円	7,311	8,810	12,276	16,955

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	学校単位で行うスキー授業のうち、1回分のバス賃借料を負担する。	バス1台当たりの借上げ単価：59,850円（税込） 小学校：125 台 中学校：54 台 合計：179台×59,850円 = 10,713,150 円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 体育授業の一環である「スキー授業」を行うにあたり、市内にスキー場がないので、バスを借り上げてスキー場まで行くことは必要不可欠であるため。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 設備の整った（授業のためのよい環境にある）スキー場を利用することは、学習成果が高く、効果的なスキー授業を行うために必要であるから。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 学校が希望するグレンデの利用がほぼ満たされ、円滑にスキー授業が行われている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 1回分のバス賃借料の負担が軽減されているが、スキー授業全てのバス賃借料の負担を軽減することは、財政上難しいため。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠 近場（札幌、岩見沢近郊のスキー場）に行き先を限定し、コストダウンを図った（H15年度から実施）。